

令和元年度第3回三重県行財政改革推進本部本部員会議概要

- 1 開催日時：令和元年9月9日（月）9:50～10:00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明）

議題1 令和元年度「第二次三重県行財政改革取組」上半期の進捗状況について

●佐藤行財政改革推進課長（資料1に基づき説明）

・第二次三重県行財政改革取組の進捗状況について上半期分を取りまとめた。年次計画に対する進捗状況について、上半期時点では11の具体的取組すべてについて、ほぼ計画どおり進捗している状況である。下半期についても、全ての取組の達成を目指しており、引き続き協力をお願いしたい。

議題2 次期の行財政改革の取組について

●佐藤行財政改革推進課長（資料2に基づき説明）

・これまでの取組の検証の結果、協創が促進されるとともに、県政運営の仕組みの改善・改革や県財政の健全化が進むなど、一定の成果が上がっていることを確認している。

・一方で、コンプライアンスの徹底については、引き続き全力で取り組むとともに、近年の新しい技術などを活用したスマート自治体をめざす必要がある。

・こうしたことから、次期の行財政改革については、「スマート改革の推進」「コンプライアンスの推進」「持続可能な行財政運営の確保」を柱として、取組を進めることとしている。

☆鈴木知事

・スマート自治体と聞くと、過去の失敗を思い起こすこともあるかもしれない。しかしながら、20世紀と21世紀では、テクノロジーの進展に大きな差がある。人も財政も右肩上がりとはいかない中で、県民の皆さんのニーズに応えていくため、真剣かつ前向きにスマート自治体を積極的に進めていくこと。

☆紀平総務部長

・スマート自治体にかかる取組に関しては、来年度当初予算において別枠で確保することも検討している。スマート自治体の推進に向けて、ぜひ積極的な検討をお願いしたい。